



4) 同行者：同行者が家族および友人など、気心の知れた人々である場合が、日帰りレクリエーション全般について圧倒的に高い比率を示している。同行者数は、森林・緑地が4～5名がもっとも高い比率を示している。

#### (4) 結び

日帰りレクリエーション集団は行動的・一次集団の典

型的な諸特性を具えていることが、うかがわれる。以後の研究では図・2から導かれる諸仮説にもとづき、研究を進める方針である。

注) 1), 2) 今井省吾他, 観光の心理分析, 日本交通公社, 昭和44年3月

3) 塩谷勉, 中島能道, 大都市住民と森林, 熊本営林局, 昭和47年10月